| | |
|---|---|
| 事例No. | 348 |
| 公表年度 | H28 |
| 団体の属性 | 一般市 |
| 団体名 | 大分県竹田市 |

| | |
|---|---|
| 事例区分 | 公営企業 |

| | |
|---|---|
| タグ | ・観光施設事業<br>・公共施設活用<br>・新たな政策手法の確立・活用 |

| | |
|---|---|
| 事例種類 | 事業廃止 |

事例内容・タイトル

「休養宿泊施設（国民宿舎直入荘）の事業廃止及び事業廃止後のＰＦＩ手法による施設整備等」（休養宿泊施設）

出典

地方公営企業の抜本的な改革等に係る先進・優良事例集

観光施設：事例1

○ 事例名等

| | |
|---|---|
| 事例名 | 休養宿泊施設（国民宿舎直入荘）の事業廃止及び事業廃止後のPFI手法による施設整備等 |
| 団体名 | 大分県竹田市 |
| 事業名（事業区分） | 観光施設事業（休養宿泊施設） |
| 法適用区分 | 非適用 |

○団体及び事業の概要

| | | | |
|---|---|---|---|
| 行政区域内人口（人） | 23,278 | 行政区域内面積（㎢） | 477.53 |
| 事業開始年月日 | 昭和51年4月1日 | 建物延面積（㎡） | 1,329 |
| 客室数（室） | 28 | 宿泊定員数（人） | 79 |
| 宿泊料（一般）（円） | 7,580 | 年間宿泊者数（人） | 7,329 |
| 年間宿泊利用者消費額（千円） | 51,757 | 職員数(人) | 15 |

※表中の計数は平成26年３月末時点

1．取組の背景、検討を開始した契機・導入過程

(1)取組の背景

国民宿舎「直入荘」は旧直入町において昭和51年から営業を開始し、同町にある長湯温泉のPR、観光客の集客等、地域の活性化の場として広く親しまれてきたが、エレベーターがないことや、トイレや洗面所が共同であること等、施設設備が現在の顧客のニーズに合致していない点や、施設の老朽化（築30年以上）とともに利用者数が伸び悩んでいる点が課題となっていた。

検討委員会での議論を経て、耐震化・改築の上で存続する（この時点で公営企業事業廃止の方針？）方針を平成22年度に決定し、平成26年度に公営企業としての事業廃止を行ったが、その後の耐震化・改築工事の入札が不調に終わったことで、議会での審議を経て、既存施設を解体し、新たに建て替える方針へと転換した。検討委員会でのさらなる議論の上、建替えにあたっては、民設民営部分と公設民営部分からなるPFIによることとなった。

(2)検討を開始した契機・導入過程

平成17年 4月　　1市3町合併（竹田市、荻町、久住町、直入町）
平成18年 3月　　「公の施設について」検討プロジェクトより議会へ報告
　　全177施設のうち102施設について検討（直入荘は売却の方針）
平成18年10月～22年4月
　　国民宿舎「直入荘」検討委員会（全8回）
　　・ 市長の諮問機関（メンバーは直入地域から選考）
　　・ 長湯温泉における直入荘の役割についてなど様々な議論を経て、売却の方針は再考し、存続させるべきとの結論を市長に答申
平成22年 7月～11月 国民宿舎直入荘「あり方」検討委員会（全5回）
　　・ 市長の諮問機関（メンバーは竹田市全域から選考）
　　・ 施設の充実化と経営手法の見直しにより収益性が見込まれることと、直入荘が竹田市の観光施策等において重要な位置づけであることなどから、当施設をリニューアルした上でその存続を求めるとする結論を市長に答申
平成23年 2月18日　有識者会議「直入荘の展望と温泉療養」
　　・ パネルディスカッション（パネラーは大学教授、旅行業関係者、あり方検討委員等）
　　・ 存続について、どのような方策が最適であるか等を専門的な観点から考察
平成23年～24年　存続に向けた具体的手法等を検討
平成25年 1月～3月　直入荘事業計画及び改修基本計画策定
平成26年 6月30日　国民宿舎直入荘営業終了
平成26年 9月～11月　耐震・改築工事入札（2回）　結果：不落札
平成26年12月10日　12月議会　　既存施設を解体し、新たに建替える方針を報告
平成27年 6月18日　第16回主要公共施設調査特別委員会（議会）
　　宿泊棟は民設民営とし、温泉利用型健康増進施設（クアハウス）を公設民営で併設する方針を執行部より提案

平成27年　9月3日　　国民宿舎直入荘「あり方」検討委員会
宿泊棟は民設民営、クアハウスは公設民営の方針を妥当と答申
平成28年　3月　　既存施設の解体
平成28年 11月～29年　1月　　宿泊棟外事業者公募
平成28年 11月～29年　3月　　クアハウス実施設計（予定）
平成29年　4月～30年　3月　　クアハウス本体工事（予定）
平成29年　2月～29年　8月　　宿泊棟外実施設計（予定）
平成29年　9月～30年　6月　　宿泊棟外本体工事（予定）
平成30年　7月　　オープン（予定）

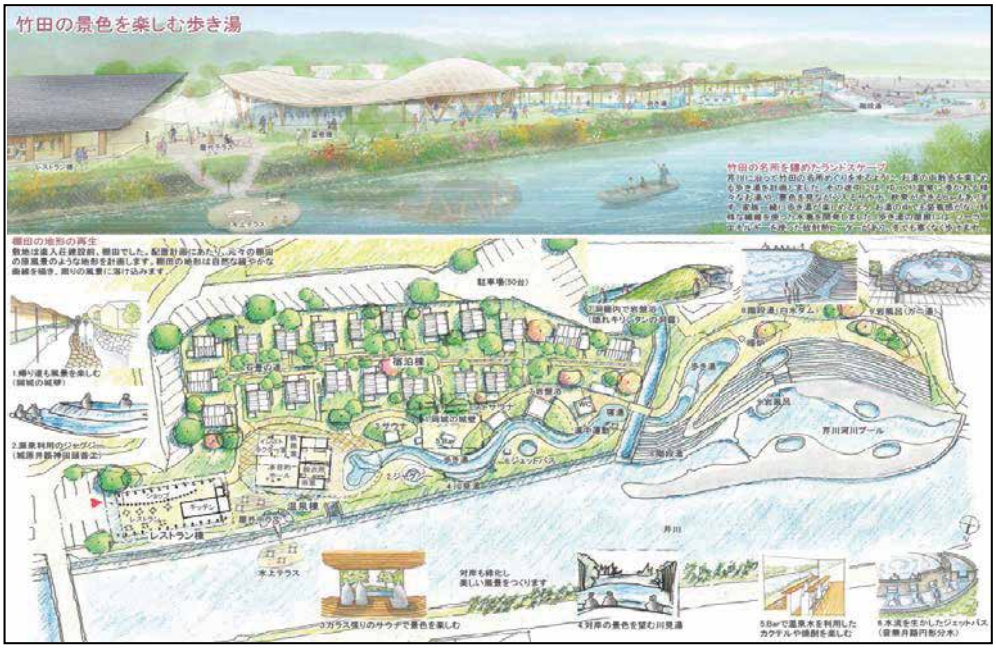
2．取組の具体的内容とねらい、効果

(1)取組の具体的内容とねらい

耐震・改築工事不落札を機に、市長発案により既存施設の解体及び改築へと転換し、公設民営部分と民設民営部分を併せ持つPFIによる施設整備・運営を実施する予定である。宿泊棟・レストラン棟については、観光宿泊に特化した宿泊施設を整備するため民間資金を活用した民設民営とし、温泉棟については、竹田市が行っている温泉療養保健制度を広く全国に浸透させ、長期滞在、地域活性化に寄与するために公設民営とした。運営については両施設とも民間が担うことから、自由な裁量による創意工夫を促すために、公営企業を廃止したものである。既存施設を解体し新設することで、現在の顧客のニーズに合った施設ができ、また、温泉利用型健康施設の建設により療養・健康づくり目的の集客も見込める。

(2)効果

公営企業を廃止し民間活力を導入することにより、建設・運営に関する市の財政負担が軽減されるとともに、民間の自由度の高い発想により長湯温泉のより効果的なPR及び地域活性化が期待できる。




3．他の自治体の参考となる点、今後の課題等

(1)他の自治体の参考となると考えられる点

当事業は、10年の歳月をかけ多くの方の意見を聞きながら進めてきた。直入荘は旧直入町の施設でありながら、市民（直入地域以外）の関心も強く度々議会に取り上げられケーブルテレビ等で市民の目に触れる機会も多く、また、直入荘の再開を願う電話も多くいただいたことで、紆余曲折あった中で単なる事業廃止ではなく、今回の取組に至った。

(2)今後の課題等

新しい施設の工事、運営

〇問合せ先

| 担当課 | 竹田市直入支所　地域振興課 | | |
|---|---|---|---|
| TEL | 0974-75-2211 | MAIL | naoirisisyo@city.taketa.lg.jp |